



まん延防止等重点措置の中ですが、2月4日（金）に行われた学年懇談会、PTA合同委員会にお忙しい中ご参加下さいましてありがとうございました。また、現在本市においてもオミクロン株による新規感染者が高止まりの状態です。本校では落ち着いていますが、感染拡大防止のため、本人や家族にかぜ症状（特に、のどのイガイガや痛み、発熱等）が見られる場合は、出席停止となりますので、登校させないようお願いいたします。

特集

子どもの自主性を引き出す「コーチング」

「コーチング」とは？

「コーチング」という言葉を聞いたことがありますか？「コーチング」とは相手に適切な質問を投げかけることで、相手自身が目標に向かってどうすればよいかに気づき、行動することを促す方法のことです。

例えば、子どもが友達とけんかしてしまった場合、頭ごなしに怒るのは、子どもの気持ちを無視することになるので良くないと言います。なぜけんかしてしまったかを聞き、「それは怒りたくもなるよね」とまずは受け入れてあげるのが理想です。気持ちに寄り添ってあげるだけで、子どもは安心して気持ちを落ち着かせることができるのです。



ここで「こうすれば簡単だよ」「まずはこれをやってみて」など、どうすればよいかという解決策を一方的に与えないということが、コーチングのポイントです。コーチングは、相手に意見を求め、相手の自主性を促す方法ともいえるでしょう。

子どもの気持ちや行動を理解して、受け止めることが大切

コーチングでは、課題を抱えている人の気持ちを、そのまま受け止めてあげることが重要です。逆に良くないのは、その人の気持ちを否定してしまうことです。

実際にオランダの教育現場では、コーチングの手法が当たり前に使われているそうです。オランダの小学校では、個性を伸ばすため、子どもたちは得意なものを選んで学習します。また、「どこまで分かっているの？」「次はどうしようとしているの？」と投げかけ、自分で考えさせます。



コーチングを取り入れると、頭ごなしにこちらの主張を押し付けるのではなく、何をすべきか相手と一緒に考えるので、相手が主体的に動くようになります。相手のやる気や自主性を引き出すことで、相手は「やらなければならない」が「やりたい」「やってみる」に少しずつ変わっていくことでしょう。

(参考 <https://www.excite.co.jp/news/article/>)

日頃の子どもたちの様子については、喜久田中 Web ページをご覧ください。
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720004>

